

<p>△産業宣教 : 237 と第 1, 2, 3, RUTC の答え 24 御座 ① - 時空超越 (使 1:3)</p>	<p>△核心 : Remnant Day 6 月学院福音化</p>	<p>△レムナント伝道学 : 伝道者の生活と第 1, 2, 3RUTC の答え 24 10 の土台 - 神の力 (使 1:8)</p>	<p>△散らされた弟子たち / 237, 5000 を 生かす第 1, 2, 3RUTC の答え 24 70 人の始まり (使 6:1-7)</p>
<p>神様はみなさんの未来を準備しておかれた。みなさんの心が世界福音化と遠くにあるならば、世界福音化に対することは受けることはできない。苦しみに閉じ込められてしまえば、その答えの他は受けられない。苦しみが来るたびに時代的な祝福の決断を下さなければならない。</p> <p><input type="checkbox"/>序論 成功</p> <p>1. その後のこと (3 団体) - みなさんが受ける祝福はその後のことだ。これを 3 団体が掌握した。</p> <p>2. RT - 産業人 (御座) - Remnant 7 人と彼らを助けた産業人は御座の祝福を見た。</p> <p>3. 時空超越 (創 41:38) - 相手が神様の恵みを見るようになることが成功した。</p> <p><input type="checkbox"/>本論</p> <p>1. 時空超越を見た人</p> <p>1) 創 37:1-11 祈りの中でヨセフを見たことをヤコブが心に留めた。</p> <p>2) 出 2:1-10 モーセにすべてのメッセージと祈りを伝達したヨケベデ。契約を正確に握れば終わり</p> <p>3) I サム 3:1-18 (19) 神様の御声を正確に聞くと言も地に落とされることはなかった。</p> <p>詩 78:70-72 神様がともにおられ技能と神様を信じることを幼いときに握ったダビデ</p> <p>4) II 列 2:9-11 世界福音化する道、ドタンの町を作る道</p> <p>5) イザ 6:1-13 御座の力、使命、滅亡の理由、Remnant をイザヤが見た</p> <p>6) 使 1:1-8 しかし (ただ) 聖霊があなたがたに臨めば</p> <p>2. 時空超越の条件</p> <p>1) 創 1:1-13 みことばで天地創造。正確なみことばだけ握れば、時空超越するようになる。</p> <p>2) 創 1:27, 2:7, 2:18 みことばが私の中に、たましいの中に、現場と家庭に働かれる。</p> <p>3) エゼ 28:10-14, エペ 2:2, 6:12 サタンの時空超越を止めること - キリスト</p> <p>3. 時空超越するミッション (御国) - 神の国 (待つ)、復活されたキリスト (味わう)</p> <p>1) マタ 10:7 神の国が近づいたと言いなさい。</p> <p>マタ 12:28-30 聖霊が臨んでサタンが縛られれば神の国が臨んだのだ</p> <p>2) マタ 28:16-20 (いっさいの権威) - 天と地のいっさいの権威</p> <p>3) 使 1:3 イエス様が最後に 40 日間言われたこと</p> <p><input type="checkbox"/>結論 祈り</p> <p>1. プラットフォーム - 作ってこそ他の人が来る。</p> <p>2. 見張り場 (台) - 作ってこそ他の人を照らす。</p> <p>3. アンテナ - 作ってこそ神様と通じて世の中を生かす疎通が起こる。</p> <p>△始めればあらかじめ答えが来る。現場に行けばあらかじめ征服する。終われば世界福音化される。</p>	<p><input type="checkbox"/>序論 神の国のこと - 今、起きていること</p> <p>1. プラットフォーム、見張り場、アンテナ - 私の中に作られる。</p> <p>2. 三位一体、御座、時代 - 私の中に三位一体の神様の働き、臨む御座の祝福、3 時代を生かす門</p> <p>3. 聖霊、サタン、御使い - 聖霊が個人に臨在、サタン縛る、主の使い派遣</p> <p>4. 問題 - 答え、葛藤 - 更新、危機 - 機会</p> <p>5. 定刻 (一人で)、24 (サミット)、25 (神の国のことで征服)、00 (奪われない答え)</p> <p>1 <input type="checkbox"/>ローマも見なければならぬ (使 19:21)</p> <p>会堂の後 - ツラノ事件の後</p> <p>1. 準備 - ローマのために祈らなければならない人が準備された</p> <p>2. 第 3 次 - イスラエルの暗やみを征服した第 3 次伝道旅行を終えた</p> <p>3. ローマ福音化 - ローマ福音化の準備ができた</p> <p>2 <input type="checkbox"/>ローマでもあかししなければならぬ (使 23:11)</p> <p>法廷で - パウロが神様のみことばの中にいるから神様がパウロの話を引用</p> <p>1. ユダヤ人指導者 - 法廷にいた。</p> <p>2. 理由 - パウロを法廷に立てられた理由にはユダヤ人の法、ローマの法、カイザルの前に立つ福音のあかしがみな含まれていた</p> <p>3. 機会 - とても大きな機会</p> <p>3 <input type="checkbox"/>カイザルの前に立ちます (使 27:24)</p> <p>暴風の中で</p> <p>1. 囚人 (船) - ローマに裁判を受けるために囚人船に乗ったパウロ</p> <p>2. 暴風 (伝道) - 暴風の中でパウロの伝道 「みなさんよ、安心しなさい。昨夜に主の使いが私のそばに立って話した。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。』これを聞く瞬間から暴風が終わり始め、このうわさがローマとユダヤ人に伝えられた</p> <p>3. 征服の始まり</p> <p>4 <input type="checkbox"/>妨げられない福音 (使 28:30-31)</p> <p>監獄の中で</p> <p>1. 妨害 X - 神様のみことばは一度も妨げられたことはない。</p> <p>2. 権威 - パウロが権威を使って 2 年間保護された。</p> <p>3. その日 - 必ずくる。AD70 イスラエル滅亡、79 年ポンペイ爆発、313 年キリスト教を国教として宣言したローマ</p> <p><input type="checkbox"/>結論</p> <p>1. 一人で - 御国 - 一人で神の国をいつも味わいなさい。</p> <p>2. 現場 - ときめき - 現場に行くときは、ときめきがなければならない。これを基準としなさい。答え、神様の働き、神様の計画があるためだ。</p> <p>3. できごと、事件 - 感謝 - できごと、事件も起こるが答えが出たから感謝</p>	<p>△Remnant 伝道学 - メモ</p> <p>Remnant 伝道学置いて一週間祈ればメモすることが出てくる。これを寝る前、起きて見れば私に刻印される。</p> <p><input type="checkbox"/>序論 理由 Nobody Nothing</p> <p>1. 救い - 現実 - 現実になまされる X, Nobody, Nothing の理由を持つべき</p> <p>2. RT - 時代 - Remnant に時代を生かすように、ないこと、できないこと恐れ X</p> <p>3. 答え - 力 - 霊的な力を先に、その中で知識、知恵の力、その中で体力、経済力、人材力</p> <p><input type="checkbox"/>本論</p> <p>1. 三位一体の神様</p> <p>1) 創 1:27 「われわれが」 - 三位一体の神様</p> <p>2) ペリ 2:6-11 「イエス様は神様の御姿」</p> <p>3) マタ 28:16-20 三位一体の神様から来る力、聖霊</p> <p>2. 約束</p> <p>1) ヨハ 14:16, 26 「助け主聖霊、すべてを悟らせてくださる」</p> <p>2) ヨハ 14:27, ヨハ 16:13-14 まことの平安が臨む。</p> <p>「すべての聞いたみことばが悟れる」</p> <p>3) 使 1:8 「地の果てまで行く力が」</p> <p>Remnant の学業の基準は 237, 地の果てと合うべき</p> <p>3. 証拠 - 神の霊 (聖霊) - Remnant が握るべき三つ目の土台</p> <p><input type="checkbox"/>結論</p> <p>1. 状態 - みことばだけ聞けば霊的状态が作られる</p> <p>2. システム - 信じて繰り返せば Remnant の時は永遠なことに</p> <p>3. 作品 - 祈りの手帳に記録、霊的作品始まり</p>	<p><input type="checkbox"/>序論</p> <p>編集 - 設計 - デザイン</p> <p>70 人の始まり</p> <p>70 人の始まりはみことば中心に編集すること。神様のことが完全に出てくる時まで編集することを指して設計。現場が見える時まで設計することを指してデザイン。</p> <p><input type="checkbox"/>本論</p> <p>1. 背景 - 問題の後に来る神様の背景</p> <p>1) ルカ 10:1-20 (御国) 私の名前が神の国に記録されたことが背景</p> <p>2) 使 1:1-8 背景</p> <p>3) 使 1:14 編集、設計、デザインを持って集まった</p> <p>4) 使 2:9-11 すると神様が準備されたことが出てくる</p> <p>2. ミッション - 葛藤の後に来る完べきなミッション</p> <p>絶対不可能 - 絶対可能</p> <p>使 6:1-7 の特徴は編集、設計、デザインを契約として、絶対不可能だが絶対可能な門が開かれたこと</p> <p>3. 始まり (場所) - 危機の中に神様の結論</p> <p>1) 家 2) 職場 3) 会堂</p> <p>ここを通して神様が絶対的な答えと結論を出すこと</p> <p><input type="checkbox"/>結論 基準 答えを受ける基準</p> <p>70 影響 (完全数) 70 か所に影響が及ぶこと</p> <p>70 弟子 (人) 70 弟子を見つけることが人を見る目</p> <p>70 地域 (現場) 現場を見る目</p> <p>70 種族 (TCK) 70 種族は TCK 見る目が開かれるべき</p> <p>70 の国 (RT - 現地) 70 の国は現地の Remnant を見る目</p>

△区域メッセージ 捕虜時代(イザ6章)切り株の契約と私の24(イザ6:13, 62:6-12)	△聖日1部礼拝 世の終わりはいつ来るのか(マタ24:1-14)	△聖日2部礼拝/癒し福祉委員会献身礼拝 十人の娘の喩えで準備すること(マタ25:1-13)
<p>□序論</p> <p>1. イザヤー答え(ダニエル→三人の同僚→エステル) イザヤのように普段に持つ祈りと力が重要。神様はその人にすべての答えを 与えられる</p> <p>2. 集中祈り(イザ6:1-12)問題が来たとき、いつも力を持つ人々は集中祈りする</p> <p>1) 御座-イザヤが祈る中で大きな御座の祝福が現れる 2) 御使い-一般の人々が知らないセラフィム(御使い)が出てくる 3) みことば-このとき、神様がみことばを与えた</p> <p>3. 切り株(Remnant-イザ6:13)</p> <p>1) 根(福音)-切り株、すなわち福音はなくなるならない 2) 切り株(残りの者)-この切り株は私たち、残りの者を言う 3) 新しい芽(次世代)-ここで新しい芽が出るが、これが次世代</p> <p>△この三つをみな合わせた単語を Remnant と言うが、これは聖書で最も重要だ。 サタンの国、世の国、神の国</p> <p>→このすばらしい部分をイザヤに先に見せる。これが私たちの祈りの基準</p> <p>□本論 回復</p> <p>1. 契約-捕虜: 契約の民が捕虜となる</p> <p>1) 福音回復 2) 伝道回復 3) 宣教回復</p> <p>2. 準備-確認</p> <p>1) 70年-わざわい、エレ29:10に「70年間捕虜になっている」とあらかじめ めみことば。神様が契約をはやく確認しろと言われた、これが70年の基準</p> <p>2) いやし-彼らを見ないやすこと約束(エレ31章、33章)</p> <p>3) 神殿-神殿回復と再び異邦人に連れられて行かないことを約束</p> <p>3. 24</p> <p>1) イザ6:1-13, 7:14, 40:1-31, 43:18-21, 60:1-22 24の代表的人物がイザヤ、「インマヌエル」絶対に変わらないみことば、「神 様は生みの中に道を、荒地地に水を」Remnant が起きるのみことば</p> <p>2) ダニ1:8-9 ダニエルと同僚は契約だけ握っていたが、すべてをみな得る</p> <p>3) エス2:10 エステルとモルデカイがこの答えを受けた</p> <p>□結論 基準</p> <p>あらかじめ悟り-祈りを継続すれば神様があらかじめ悟りを与えられる(ヨハ 14:26, ヨハ16:13)</p> <p>1. あらかじめ見る-私たちの教会が何をしなければならぬのか、あらかじめ見え る。これが基準</p> <p>2. あらかじめ持つ-あらかじめ見れば、まだ答えが来なくてもあらかじめ持っている ことになる</p> <p>3. あらかじめ味わう-あらかじめ持っていれば、あらかじめ味わうことになる</p> <p>4. あらかじめ征服-行くこともせずあらかじめ征服、すでにイザヤに証拠されること (イザ6:13)</p> <p>5. あらかじめ成就-持っていないのに成就したことを持っている。これが基準</p> <p>△祈りはこの祝福を味わうすべてのことだ。</p>	<p>□序論_新しい信徒と Remnant に言っておけるべきこと</p> <p>1. 三つの終末</p> <p>1) 個人 2) 時代 3) 地球</p> <p>2. このとき、イエス様が与えられた答え(一単語) - 「絶対的なことを 握りなさい」</p> <p>1) 絶対契約-3 団体は絶対的なことをするのにキリスト教徒はして もしなくても良いことを、無条件に熱心に(3 団体に負ける理由)</p> <p>2) 絶対計画-大きな問題、とまどうこと、私たちの職業の中で神様 の絶対計画を握りなさい</p> <p>3) 絶対背景-イエスがこれを弟子に教えられる(マタ 10:7, 6:33, 12:28-30, 28:16-20, 使1:3)</p> <p>△絶対背景は三位一体の神様が御座の祝福で私と永遠にともにお られるということだ。</p> <p>3. いつもしなければならぬ質問と祈り-神様の絶対計画は何ですか</p> <p>1) 弟子の質問-世の終わりにはどうなるしがありますか(マタ 24:3)</p> <p>2) イエス様の返事-最後に起こるわざわいが終わりでなく御国の 福音が世の中に宣べ伝えられて、そのとき、はじめて終わりが来 ると言われる(マタ 24:14)</p> <p>3) いつもする質問-神様の絶対計画は何ですか。質問するとき、神 様は「絶対契約」をくださるが、残りの生涯にこの祈りがあるべ き</p> <p>□本論</p> <p>1. 何の福音を持たなければならないのか(三つの福音)</p> <p>△キリストですべてが完了。私にある問題は祝福の始まり</p> <p>1) 世々に渡る前からおられて、私たちを救うために受肉なされたキ リスト-すべてのサタンの権威、永遠ののろい、わざわいを終わ らせてしまった。罪と死から移される</p> <p>2) 復活されたキリスト-今でもその御名で祈れば答え</p> <p>3) 再臨の主として立てられるキリスト-キリストの契約を持って私 と世の中生かすこと。本当に始めなさい。</p> <p>2. 何を伝道しなければならないのか</p> <p>1) 病気になっている全世界の人の隠れた根本いやし 2) 文化に対する病気いやし 3) 他の刻印、根、体質いやし</p> <p>3. どこまでしなければならないのか。世の終わりまで!</p> <p>1) 正しい伝道運動するように神学と教理補完 2) 教会システム転換(237 がきていやし、サミットに) 3) 70 地域に影響が及ぶほど力の産業に変えてこそ、すべての民族に 行ける</p> <p>△第 1, 2, 3 エルサレム神殿が崩れた理由を知るべき</p> <p>□結論_神様の絶対計画を質問しなさい。なぜこの教会に?なぜこのこ とを?この質問をするとき、誰も与えてくれない答えを握るようにな る</p> <p>△このとき、絶対契約が出てくるようになる。世の中の方法で世の中 を生かすことができないので絶対旅程をくださる。地のことでは地 のことを生かせないので、絶対目標を与えられる</p>	<p>□序論_結婚式の意味</p> <p>1. 婚礼(成人) 1) 契約-やりとりする 2) タラント-確認 3) 専門性(現場性) -準備</p> <p>2. 新婦の家-キリストを待つ信徒、新婦</p> <p>1) 世々に渡る前からおられたキリスト 2) 受肉されたキリスト 3) 復活の主-私たちとともに 4) 再臨の主として来られるキリスト</p> <p>3. 新郎の家 1) 天国祝祭 2) 御座の祝祭 3) 私たちの背景(故郷)</p> <p>□本論_油の準備</p> <p>1. 油-私を生かすこと</p> <p>1) 創41:38 神の霊の宿る者-聖霊、いのちの油 2) 出3:18-20 血のいけにえをささげに行きなさい。わたしが力ある御手であなたと ともにいる。</p> <p>3) I サム3:1-19 驚くべき力の働きが臨んだサムエル-一言も地に落ちない</p> <p>4) I サム16:1-13 この日以来、主の霊が激しく下った。</p> <p>5) II 列2:9-11 私に霊の二つの分け前をください</p> <p>6) ダニ1:8-9 初めから神様のみこころで、心を定めた。</p> <p>7) 使1:1, 3, 8 復活されたキリストが神の国、ただ聖霊を言われた。</p> <p>2. 油-いやし</p> <p>1) 奴隸時代-世の中とサタンに奴隸になった人々を聖霊の油で解放させなさい</p> <p>2) 戦争時代 3) 捕虜時代 4) 属国時代</p> <p>5) 流浪民族-この中に私たちの次世代は一緒に行く。油を準備しなければならない。</p> <p>3. 油-福祉</p> <p>1) 福祉対象者-いやし 2) 助ける者-力を養うべき 3) 宣教師として</p> <p>□結論_流れ</p> <p>あなたがたは心を騒がせてはなりません。神様とわたしを信じて、天国が備えられて いるので、心配してはなりません。</p> <p>1. ヨハ14:16 助け主聖霊を送る。</p> <p>2. ヨハ14:26 聖霊はあなたがたに多くのことを悟らせてくださる。</p> <p>3. ヨハ14:27 聖霊が臨めば、真の平安が臨む。</p> <p>4. ヨハ16:13 聖霊が臨めば、私が教えたすべてのことを思い出すだろう。</p> <p>5. ヨハ20:22 息を吹きかけて聖霊を受けなさい。</p> <p>6. 使1:8 しかし(ただ) 聖霊があなたがたに臨まれれば-力、地の果てまで証人</p> <p>7. 使2:1-13 五旬節の日になって</p> <p>8. 使13:1-4 宣教地域-同じ働き</p> <p>9. 使16:6-10 門が閉ざされてた時も、この力を受けた。</p> <p>10. 使19:1-7 マルコの屋上間のことが再現、使19:8-20 ツラノ運動 使19:21, 23:11, 27:24 ローマ、カイザル</p> <p>△一番最初に救われた者に祈りの奥義を知らせて、いやしからすべきだ。私は伝道す るとき、この準備を先にする。行って神様が備えた人、弟子を見るのだ。伝道、宣 教をしながら、いのちを与えて、聖霊の力を分かせなければならぬ。</p>